

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富山県			代表者名	新田 八朗
担当者部署(属性)	人事担当	担当者部署名	人事課	連絡先電話番号	076-444-3201
担当者役職	課長(県庁活性化等担当)	担当者氏名	吉尾 望	連絡先E-mail	
住所	930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	県庁改革推進事業		
概要	社会情勢の変化に伴い複雑化・高度化した行政課題に対応する必要や、人口減少社会において人材獲得競争が激化している現状を踏まえ、紙ベースの旧態依然とした働き方を見直し、DXを推進して業務の質や生産性を高めて行政サービスの質の向上を図るための職員の意識づけやノウハウについてご支援いただきたい。				
支援を求める分野	EBPM人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(外部人材活用) 働き方 テレワーク				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	204	令和6年12月19日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月15日	講演(実地)	9時00分	17時00分	60
			活動時間(分)	420	
2-2. 派遣場所	会場名	富山県庁	最寄駅	JR富山駅	
	所在地	富山県富山市新総曲輪1-7	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">参加者への満足度に関するアンケートにおいて、9割以上が「とても満足」と回答。参加者の意見として、「豊富なツール紹介と具体的な使い方の説明が現場に即してとてもためになった」「目標を設定することで、それにキャッチアップしていくことの大切さがわかった」「意識を変えれば自分を変えられるという強いメッセージに感銘を受けた」などの意見があった。
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none">来年度も開催をお願いしたい

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	25人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	25			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">本県では目指す組織像の一つとして「チャレンジできる県庁」を掲げ、組織の垣根を超えた連携や、業務効率化など様々な課題にチャレンジする職員を生み出すこととしているが、昨年行った職員アンケートの結果、自分に不足している能力や特性として「チャレンジ精神」を上げる者が多く、新たな行政課題やペーパーレス化などの働き方改革に積極的に取り組めていないことが明らかになった。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">池田氏の講座で学んだ方法の実践や気持ちの持ち方による職員一人ひとりの意識改革とチャレンジ精神の涵養。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝える」と「伝わる」は違う。日頃から相手がどういう人でどういう考え方をしているかを把握しておくことが重要。 ・自分の感覚ではなく、正確なデータや数字を用いて説明する。 ・案件を常に前進させるためには、人間の特性（忘れる、すぐ動かない）をコントロールすることが重要。 ・相手（上司）との合意を形成し、現状を打破する。 ・ビジョンと現在のGAPを見つけて打ち手を推進するのがマネージャー（管理職）の仕事。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が何を伝えたいかではなく、相手にどう伝わるかという観点を重要視するようになった。 ・正式な打合せの場でも相手へ少しでも接触し、布石を打とうとするようになった。 ・施策立案の際に5W1Hを常に意識するようになった。 ・漠然と動くのではなく目標を立てて動くようになった。 ⇒ 以上のようなことから現状を変えることを恐れずチャレンジしようという意識付けができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今年度は単発で実施した講座だったが、受講者の満足度が高かったことを受け、来年度の職員研修実施計画の中に組み込むことがほぼ決定した。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートで満足度・わかりやすさ・お勧め度・やる気への影響と自由意見を聴取したところ、現状を変えたいと思っている職員が多いことがわかった。アドバイザーの講座で紹介されたツールや気持ちの持ち方で、よりよい方向に変えていきたいという決意表明をする職員が多数いた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	目標を持ち、意欲的に働く職員を幅広く増やすため、受講人数や対象者を拡大(市町村職員にも声がけ)し講座を継続	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本県がめざす組織像「職員一人ひとりが自ら考えて”始動”する富山県」「チャレンジできる県庁」に近づく	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

